

公益財団法人日本水泳連盟

# 認定OWS大会

## 仕様書

平成30年度(2018)版



公益財団法人日本水泳連盟 OWS委員会

# 目的



## 1) 強化の推進：多様なレース環境の創出

⇒多様なレース環境を通じた実戦強化

⇒全国規模の選手・指導者発掘網の構築

## 2) 普及の促進：認知度と安全性の向上

⇒認知度向上の全国展開

⇒全国規模の審判員・競技役員の養成

## 3) 市場の拡大：競技人口および大会数の拡大

⇒スケールメリットを活用したスポンサーの獲得

⇒地域振興・活性化への貢献

# 条件



- 1) 主催者が公的機関・組織であること
- 2) 日本水泳連盟が「後援」であること
- 3) 加盟団体が「主催」、「主管」、「後援」のいずれかであること
- 4) 加盟団体が日本水泳連盟宛てに所定の『**後援・認定名義等使用許可申請書**』を事前に提出し、大会終了後に『**事業終了届出書**』を提出すること
- 5) 定められた競技運営を実施すること
- 6) 定められた種目を実施すること

# 定められた競技運営



- 1) 日本水泳連盟『OWS競技規則』を原則とすること
- 2) 日本水泳連盟『OWS競技に関する安全対策ガイドライン』の遵守を原則とすること
- 3) 競技役員に、日本水泳連盟OWS競技・公認審判員  
および日本水泳連盟OWS委員会セイフティ・オフィサー  
(安全担当員)を含むこと  
なおセイフティ・オフィサーの必要経費は各大会側の  
負担とすること
- 4) 原則として日本ライフセービング協会(JLA)の有資格者(ベーシックサーフライフセーバー)がいること
- 5) 大会終了後、速やかに大会結果(リザルト)を所定の  
形式(Excel)にて提出すること

# 定められた実施種目



## 1) 「5km」と「5km未満」のいずれか、または両方を実施

\* 既存認定大会はこの限りでない

## 2) 「5km」の男女各上位3名に『OWS日本選手権』の出場権を付与

\* 「2017年度日本選手権水泳競技大会OWS競技8位以内」で参加資格を得ている選手を除く

※ 日本水泳連盟OWS強化事業として上記該当選手を派遣出場させるため

\* 日本水泳連盟競技者登録者(2018年度)に限る

\* 「5km」を実施しない既存認定大会は、最長距離種目に出場権を付与する

\* 出場権付与種目を「日本選手権大会トライアルの部」と称することができる(任意)

\* 日本選手権トライアルの部では日本選手権のルールに基づく事を前提とする

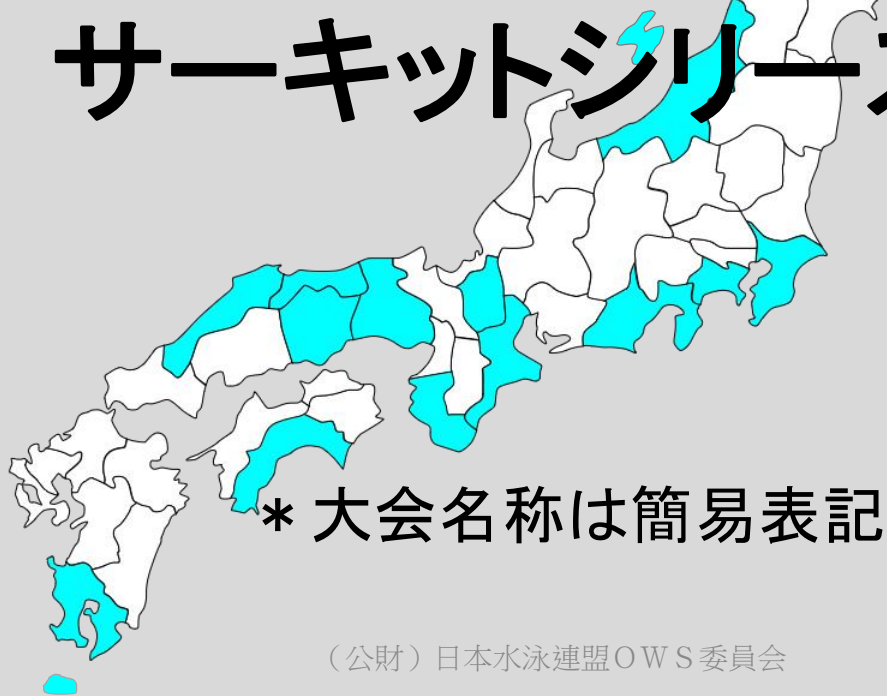
(3位までの着順審判員の設置FINA公認水着の着用、FINAルールによるウェットスーツ着用、フローティングスタート(水中スタート))

## 3) 原則として、「500m以上または15分間以上の集団泳(OWS検定5級)」、または親水イベント(形態不問)を実施

(公財)日本水泳連盟OWS委員会

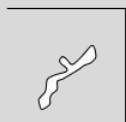


# 平成30年度 (2018) サーキットシリーズ



\* 大会名称は簡易表記

(公財) 日本水泳連盟 OWS 委員会



# 平成30年度 認定OWS大会



第1戦(平成30年6月3日):静岡お茶OWS(静岡)

第2戦(平成30年6月24日):中海OWS(島根・鳥取)

第3戦(平成30年6月24日):南紀田辺・扇が浜OWS(和歌山)

NEW

第4戦(平成30年7月1日):阿久根OWS(鹿児島)

第5戦(平成30年7月7日):世界遺産・屋久島OWS(鹿児島)

第6戦(平成30年7月15,16日):館山OWSフェスティバル(千葉)

第7戦(平成30年7月29日):OWS三重オープン尾鷲(三重)

第8戦(平成30年8月5日):佐渡OWS(新潟)

NEW

第9戦(平成30年8月5日):釜石OWS根浜大会(岩手)

第10戦(平成30年8月19日)びわ湖・長浜OWS(滋賀)

第11戦(平成30年8月25,26日)ひめじ家島OWS(兵庫)

第12戦(平成30年9月1,2日)湘南OWS(神奈川)

第13戦(平成30年9月30日)せとうちOWS in 渋川(岡山)

第14戦(平成30年10月21日)すさきOWS(高知)



# 平成30年度(2018)公益財団法人日本水泳連盟 認定OWS大会一覧

